

西中だより

第2号

学べることによるこび

本がうれしい

高知県 小六りつ子

センセイ 本のおい、いいなあ

センセイ ウチの手さげ

六さつも入って、重いんよ

重い手さげ、いいなあ

センセイ あしたから

学校行くけど、うれしいんよ

本が来たから、学校行ける

今夜、眠れんかもしれへん

センセイ けど、ずっと学校行つて

ないもん、心配なんよ

ヤスちゃんも、トモちゃんも

仲よろしくくれるんか

けれど、センセイ

本があつて、学校行けるのうれしい

手さげが、本で重い

ほんとにうれしい



上の詩は今から57年ほど前、高知県の小学生によって書かれたものです。

新しい本を手にした喜びと、友だちと一緒に勉強できるうれしさ、久しぶりに学校に行く不安が表現されています。

年配の方はご存じだと思いますが、それまでは教科書はそれぞれの家庭で買わなければなりませんでした。お下がりを使える子どもはまだいい方で、中には教科書を買えず、学校に行けない子どももいました。この詩の作者りつ子さんもそんな子どもの一人だったのでしょうか。

憲法26条1項には、国民はその能力に応じて等しく教育を受ける権利があることが、2項には国民はその子どもに普通教育を受けさせる義務があることが書かれています。また義務教育は、これを無償とする。とあることから、高知県で教科書をタダにする運動が起こり、全国に広まりました。その結果、昭和39年から段階的に教科書が無料で配布されるようになりました。勉強したいと強く思う子どもと、子どもの幸せを願う親の思いが重なった教科書。私たちもこうしたいを大切にできる教師でありたいと思います。



対面式・歓迎遠足

4月12日新入生を迎えて、対面式と歓迎遠足を実施しました。対面式では、生徒会組織や各委員会の活動、年間行事などについて説明し、その後部活動紹介を行いました。

岡山公園へ場所を移し、全学年が縦割り班で弁当を食べたりレクリエーションを行ったりしました。晴天に恵まれ、桜の花がまだ残る公園で楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

【対面式】



整列し、生徒会の説明を静かに聞く1年生（左側）まだ緊張気味の様子です。

【部紹介】



【歓迎遠足】

